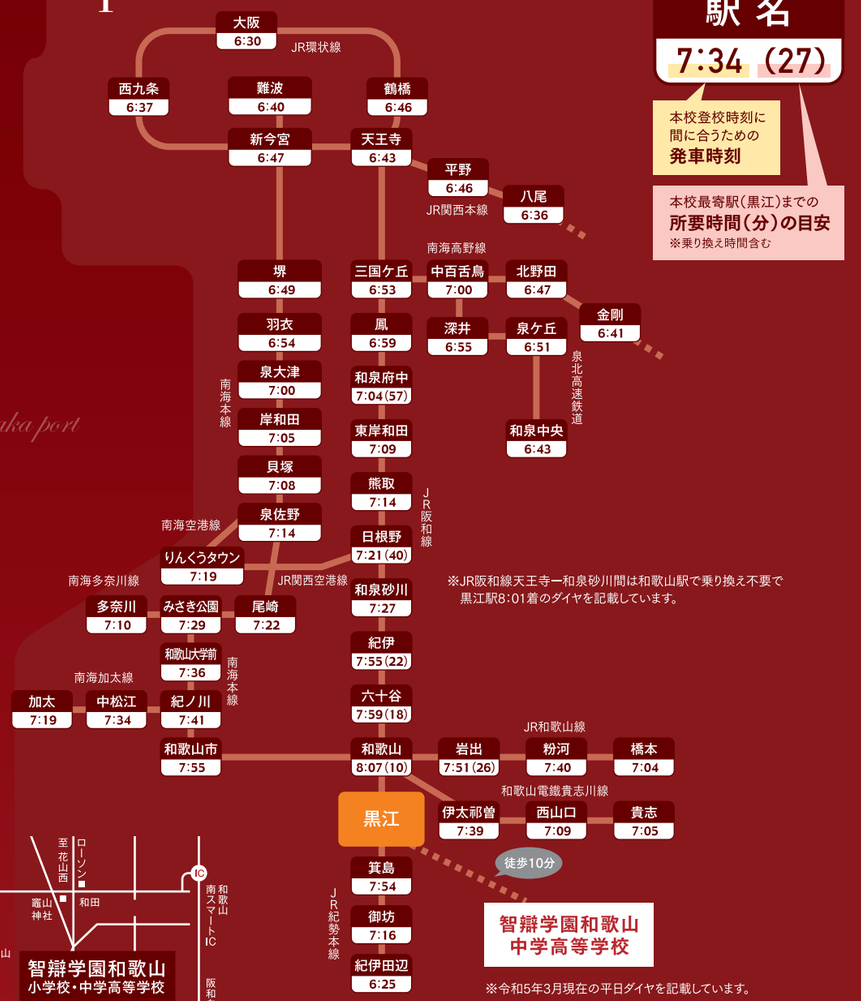
Access Map



表示の見方

駅 名
7:34 (27)

本校登校時刻に間に合うための**発車時刻**

本校最寄駅(黒江)までの**所要時間(分)の目安**
※乗り換え時間含む

※JR阪和線天王寺ー和泉砂川間は和歌山駅で乗り換え不要で黒江駅8:01着のダイヤを記載しています。

※令和5年3月現在の平日ダイヤを記載しています。

※和歌山方面、田辺・御坊方面からは「和歌山南スマートIC」でおりてください。
※「和歌山南スマートIC」はETC車専用になるのでご注意ください。

学校紹介の動画配信中！

スマートフォンアプリ「COCOAR」をダウンロードし、そのアプリでパンフレットのARの表示のある写真を読み込むと動画がダウンロードされ、見ることができます。

このマークのアプリをダウンロード!!

1. アプリを起動して画面下の「スキャン」をタップし、右のマークの付いた写真にかざす
2. スキャンとダウンロードが完了すると紹介動画が流れます。

智辯学園和歌山中学高等学校

併設校 智辯学園和歌山小学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-2811 Fax.073-479-1190
https://www.chiben.ac.jp/wakayama

学校HP　facebook　Instagram　YouTube

2023.4 発行

智辯学園和歌山 中学高等学校

Chiben Gakuen Wakayama junior & senior high school

50th aniversary since1978-2028

2024

感謝の心と
堅い絆
そして未来へ

ここで挑む、自分を超える。

2018年に創立40年を迎え、今後もさらなる挑戦を
続けていく智辯学園和歌山中学高等学校。
教育を通じて心身ともに成長できる環境の中、
生徒一人ひとりが、自分自身の可能性や目標に挑戦しています。

愛のある教育

誠実 *Sincerity*　**明朗** *Cheerfulness*

智辯学園が目標とする「人」は

01 明朗で知性溢れる人

02 不屈の精神と使命感を持つ人

03 自己を確立しつつも社会性豊かな人

04 この世に生をうけた幸福を知る人

School History

昭和53年	1月	第一回入学試験実施 （於和歌山大学教育学部校舎）
	4月	第一回入学式（於海南市立体育館） 中学82名、高校146名入学
	11月	校舎第二期工事竣工
昭和54年	5月	体育館竣工
	6月	竣工記念式典
昭和56年	2月	高等学校第一回卒業式
昭和57年	2月	校歌制定 （作詞 藤田照清校長 作曲 末吉保雄桐朋大学教授）
昭和59年	2月	6年一貫教育課程第一回卒業式
昭和60年	4月	編入コース設置
昭和62年	4月	国際コース設置
昭和63年	1月	藤田照清第二代理事長就任、校長兼務
	10月	創立十周年記念式典並建学記念講堂竣工式
平成元年	11月	野球専用グラウンド竣工
平成４年	4月	新制服制定
	7月	冷暖房設置（全館）
平成６年	4月	第66回選抜高等学校野球大会 初優勝
平成８年	4月	第68回選抜高等学校野球大会 準優勝
平成９年	8月	第79回全国高校野球選手権大会 初優勝
平成10年	4月	創立二十周年記念式典並記念図書館竣工式
平成12年	4月	藤田清司第二代校長就任
平成12年	4月	第72回選抜高等学校野球大会 準優勝
	8月	第82回全国高校野球選手権大会 優勝
平成13年	4月	国際コースをINCに名称変更
平成14年	4月	智辯学園和歌山小学校、第一回入学式 80名入学
	8月	第84回全国高校野球選手権大会 準優勝
平成19年	5月	創立三十周年記念体育館改築
平成21年	12月	藤田清司第三代理事長就任、校長兼務
平成30年	4月	第90回選抜高等学校野球大会 準優勝
令和 3年	8月	第103回全国高校野球選手権大会 優勝

学園の誕生

（和歌山県の要請により開校）

智辯学園和歌山中学高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清大僧正の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校しました。設立母体は智辯学園中学校・高等学校であり、「誠実・明朗」を教育目標とし、持てる能力の最大開発と、人や物を大切にする心、感謝の心、使命感に燃える人間の育成をめざしています。和歌山県が本学園を招致した所以は、本学園玄関壁の碑文「知事招請の辞」に明記されています。本学園は、設立母体の建学の精神を継承し、さらに大きな前進と発展を使命とします。

智辯学園和歌山中学高等学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-2811

Message

理事長 藤田 清司

我が子のように生徒を愛する教育

生徒を我が子のように思いやり、愛情を持って接する、“愛のある教育”が教育の原点であると考えます。この原点に常に立ち返り、生徒一人ひとりを献身的に支え、“誠実・明朗”で心豊かな人物をはぐくむことが本学園の使命です。四十余年前、和歌山の地に教育の場を開いて以来、こうした強い想いは変わることなく、具体的な成果をあげています。確かな実績をもとに、今後も教育に取り組み、生徒全員のさらなる能力向上を叶えたいと願っています。

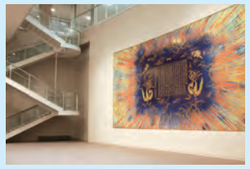
中学高等学校長 宮口 祐司

自己の可能性に挑戦する生徒

夢に向かって真摯に努力する生徒の瞳は輝いています。教師として何より嬉しいのはそんな姿を見ることです。目的を一にする仲間と切磋琢磨して過ごす青春のひとときが若者には必要です。孟母三遷の教えの通り、環境が人間を育てます。本校では将来を嘱望される多くの諸君が自己の可能性に挑戦を続けています。

学校法人 智辯学園

智辯学園
中学校・高等学校
奈良県五條市野原中4-1-51
Tel.0747-22-3191



智辯学園
和歌山小学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-1200

智辯学園奈良カレッジ
（小学部・中学部・高等部）
奈良県香芝市田尻265
Tel.0745-79-1111

教育の目標

Base for goal achievement Part 1

4 質の高い教育をみんなに

知力の徹底的訓練を期す

知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力を身につけることが必要です。
本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間登校日数も可能な限り確保。英語、数学、国語の基礎学力の修得に特に配慮。
また、週単位時間数を確保することにより、多様なカリキュラム編成を可能にしています。
さらに十分な時間をかけて授業をおこなうことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。
これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現をめざします。

授業時間 60分

週単位（最高） 39時間

年間登校日数 約250日

目標達成のための 二本の柱

誠実明朗で知性 あふれ将来各分野で活躍するリーダーの養成

豊かな人間性を育む

1. 「宗教」の時間では、宗教的情操を養い、「人と心」の問題を研鑽する。
2. 毎月1回「感謝祭」をおこない、四恩（父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩）に感謝を捧げ、今後の努力と精進を誓う。
3. 毎朝始業前に読経し、心を静め、決意新たに1日の学校生活を開始する。
4. あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「豊かな人間性」を育み、感謝と奉仕のできる人間をめざす。

教育の目的は人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。
本学園では宗教的情操教育を基盤として“豊かな人間性を育む教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。
そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。
そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。

Base for goal achievement Part 2

16 平和と公正をすべての人に

我が子のように 生徒を愛する教育

生徒

保護者

教職員

三位一体

の教育で結　束力を高める

国際人を育てる

国際的な教養と感性、国際平和をめざす強い意思は、これからの時代にますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長をめざし、海外交流を重ねています。高校1年3月に「アメリカ・ワシントン」「オーストラリア・シドニー」の姉妹校へそれぞれ約20名の希望者を募り3週間の短期留学をおこないます。また同じく、高校1年7月に韓国・ソウルの姉妹校へ希望者を募って研修旅行をおこなうなど他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。

アメリカ短期留学（高1）

オーストラリア短期留学（高1）

韓国研修旅行

体験型学習を通して自主性・協調性を養う（中・高6年一貫コース）

中学校では各学年でそれぞれ宿泊を伴う3泊4日程度の校外研修を実施しています。中学1年では奈良県の曽爾高原（国立曽爾青少年自然の家）で林間学校をおこない、登山や野外炊飯などのプログラムに参加します。中学2年では兵庫県の淡路島（国立淡路青少年交流の家）で臨海学校をおこない、カッター研修にチャレンジしたり、伝統文化に触れたりします。いずれも豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や責任感、リーダーシップを養う貴重な機会です。中学3年は修学旅行として、広島で平和学習をおこなうとともに、瀬戸内海沿岸を周遊し、それぞれの地域の歴史や文化を学びます。

コース紹介
Course information

中高6年一貫コース

定員215名
（12年一貫を含む）

**早期から大学入試を見据え
効率的なスケジュールで学ぶ。**

中学・高校の3・3制の分断システムから脱却し、中・高の学習内容を再編成することで、無用な足踏みや無理な疾走、無意味な重複を避けることができます。その結果、可能な部分をできるだけ進めたり、時間をかけるべきときはじっくり取り組んだりするなど、腰を据えての資質開発が可能となります。

**成長段階にふさわしい人間教育で
精神面を豊かに。**

思春期は精神的に繊細な時期。6年間を通して、一人ひとりに必要な安定した人間教育を可能とするのが6年一貫教育です。安定した環境で学ぶことは、成長段階にふさわしい人間教育につながり、精神面を豊かにする上で重要なことと考えます。

編入コース

定員45名

**豊富な授業時間※で高校課程2年間分を
学習し中高6年一貫コースと合流。**

中高6年一貫コースの学習進度が1年分先行していることから、編入コースの生徒は、2年間分の教科内容を学習します。ただし教科内容の精選と授業の効率化を図り、無理なく円滑に中高6年一貫コースの学習進度に合流できるように計画的なカリキュラムを編成しています。また入学前の春期補習や豊富な授業時間の確保など充分なサポート体制を取っています。

※本校は1年間で公立高校の約1.5倍の授業時間を確保しています。

**高校2年次から文系・理系に分かれ、
最終学年では演習中心で応用力を養う。**

編入コースでは高校1年次に進度補正したあと、中学5年生（高校2年生）で中高6年一貫コースの生徒と合流し、同時に文系・理系のクラス分けを実施します。2年次終了時点で高校の教育課程をすべて修了し、最終学年では大学入試に備えて演習を中心に取り組み、応用力の養成に専念します。

可能性を最大限に引き出し、望みうる最高の大学をめざす。

小中高12年一貫コース

（併設校：智辯学園和歌山小学校）

定員80名

**のびのびといきいきと
子供たちの夢を育てたい。**

1本の教育軸で結ぶ12年一貫教育だからこそできる真の心の教育と、しっかりとした基礎学力を総合的に身につけられます。これまで実践してきた6年一貫教育の実績に裏付けされた自信を基に、子供の能力と資質を最大限に伸ばす12年一貫教育を進めています。

スポーツコース

定員10名

**全国大会そしてさらに次のステージを
見据えて社会に貢献できる人材に！**

全国大会出場、そして優勝を目標に掲げ熱い情熱をもつ精鋭たちが集います。引退した後も社会で貢献するために、基礎学力や人間力の養成に努めています。また、積極的なボランティア活動や地域活動をめざし、社会とのつながりを大切にしています。

11 住み続けられるまちづくりを

コース編成

Course Design

可能性を最大限に引き出す、2－3－1システム。

中1	中2	中3	中4 高1	中5 高2	中6 高3

小中高12年一貫コース

2クラス 80名

中高6年一貫 コース

5クラス/215名
（12年一貫を含む）

一期〈中学課程〉

基礎力養成をめざす

6カ年の前期にあたり、中学段階の基礎学力の養成、学習姿勢・学習方法の確立をめざし、総合的思考力の基礎作りとしての訓練をおこないます。

家庭学習を含めた、予習→授業→復習の学習サイクルという学園生活の基本を確立します。学年末には高野山合宿を実施しています。

中学課程を修了し、さらに思考力養成のため、応用問題の演習をします。また、夏には貝塚合宿を実施しています。

中学1年時に 6年一貫コースへ全員合流

二期〈中学・高校課程〉

実力養成をめざす

この時期は心身ともに大きく成長する段階です。この時期に6カ年の主要部分である高校段階の基礎固めと実力の養成をめざします。

高校課程を取り入れ、中学課程を拡張させることで、合理的で効率的な学習が可能となります。夏には希望者で東京大学見学を実施。大学進学がより身近な目標になります。

高校課程は演習によって理解を深めることが大切です。詳しく丁寧な授業に、ふんだんな演習を加えることで確かな実力を養います。

文系理系に分かれて、それぞれが必要な選択科目を履修します。効果的で深みのある学習により、応用力を養います。

三期〈受験対策〉

応用力養成をめざす

6カ年の総まとめの時期として、総合的な実力の養成を図ります。また、多様化する大学の二次試験などを考慮し、各自の目的に合った合理的な学習と応用力の養成をめざします。

全科目、大学受験に向けての演習をおこないます。「夏期講習」「直前共通テスト対策」「二次対策」などで実戦力を身につけます。

高校2年時に 6年一貫コースへ全員合流

望みうる最高の大学へ

編入コース

1クラス/45名

高校からの課程に 6年一貫コースのメリットを生かす

中学5年生で無理なく円滑に6年一貫コースに合流できるよう、計画的にカリキュラムを編成、教科内容の精選と授業の効率化を図っています。編入コース入学者には、入学前の3月末から補習をおこないます。

スポーツコース

1クラス/10名

引退後の人生も見据えて、基礎学力や人間力の養成に努めています。日々の授業では、正しい学習姿勢、基礎学習の反復を大切に、大学進学後そして社会で通用する知性と教養を身につけることも目標に学習しています。

大学進学 実業団・プロ球団

週あたり授業時間数［60分授業］

中高6年 一貫コース

中学校

	1年	2年	3年
国　語	6	6	6
数　学	6	6	6
英　語	6	7	6
理　科	5	5	3
社　会	3	3	5
他	8	7	8
計	34	34	34

高校

	1年	2年		3年	
		文	理	文※	理※
国　語	6	6	6	6	6
数　学	6	6	8	6	7
英　語	6	7	6	7	6
理　科	5	4	10	4	8
社　会	4	8	4	8	4
他	7	3	3	3	3
計	34	34	37	34	34

※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科二次対策演習を追加し、受講できます。

編入コース

高校2年時に中高6年一貫コースへ合流

	1年	2年		3年	
		文	理	文※	理※
国　語	7	6	6	6	6
数　学	9	6	8	6	7
英　語	8	7	6	7	6
理　科	6	4	10	4	8
社　会	3	8	4	8	4
他	6	4	4	3	3
計	39	35	38	34	34

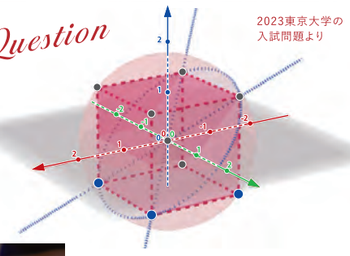
※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科二次対策演習を追加し、受講できます。

One Year

高校3年生は 演習中心の1年間

高校2年生終了時点でほぼ全ての高校課程（教科書内容）を修了します。
よって授業のほとんどが大学受験に向けた演習中心。
日々の授業が大学入試に直結します。
さらに日々の演習授業に加えて下記の講習等をおこなっています。

Question



2023東京大学の
入試問題より

「夏期講習」

7月最終週。8月第1週。そして夏期休暇を挟んで8月最終週の3期に分けて夏期講習をおこなっています。それぞれの講習は共通テスト対策から最難関の大学別演習まで幅広く開講し、自身の意思、レベル、志望校に合わせて選択することができます。

「共通テスト対策」

12月末から1月中旬までは、授業はすべて共通テスト対策の演習をします。共通テスト本番を意識した試験時間やマークシートへの解答など実践的な演習で、校内で本番同様コンピュータ採点し、データを抽出、分析をおこないます。

「個別大学対策」

高校3年では授業は午後4時に終了し、放課後にはそれぞれめざす大学に合わせた講習を自分で選択し受講することができます。最難関の大学向けの発展的な数学、理科、社会の演習や、個々の大学に応じた自由英作文、リスニング、小論文の講義などを開講しています。

「卒業後の対策」

本校の卒業式は共通テスト終了後の1月下旬におこなわれ、その後は授業時間に縛られず目標大学に向けた学習を自由にすることができます。多くの生徒が登校し、記述問題の添削や質問に訪れます。また希望に応じて個別に講義をおこなっています。

●これらの講習や演習は全て無料で実施

●各種の「模擬試験」も授業時間内で対応

対談 TALK

TEACHER STUDENT

東京大学
理科Ⅲ類
現役合格

小川 智史先生 数学科

生駒 直杜さん 6年一貫コース卒業

小川：東京大学理科三類への合格、おめでとうございます。
生駒：ありがとうございます。
小川：これまでの数多くの関わりの中で一番印象に残っていることは何ですか？
生駒：中1の最初、入学したてのときですが、実は算数があまり好きではなかったです。でも小川先生の授業を受けていて、とても面白くて。それで数学に対して興味が湧くようになりました。同級生でも数学が好きだという子がとても多いのは先生の授業の影響を受けたからだと思います。
小川：中3の研修旅行の時も移動のバスの中で数学の証明問題とか楽しくやりましたね。東大見学のときもずっと隣の席で。
生駒：あのときは色々な本を紹介してもらいました。
小川：中1からの生駒君の印象は、例えばテスト直しなどをきっちりとやってくる印象があります。特に、中2の英語で99点だったテストを2時間かけて満点直ししていた姿は鮮明に記憶に残っています。
生駒：宿題として課されたテスト直しを通して、自分のできていないところを捉え修正することの大切さに気づけました。
小川：これだけ勉強ができるのに、いつも授業では真剣に話を聞いていますよね。
生駒：授業の中で得られるものを少しでも多く得たいと思って聞いています。
小川：集団での授業でも習熟度の高い生徒が退屈しないようにと思って授業は作っていました。さらに様々な学力層に分けて対応できる補習も数多く行いました。その中でも参加した生徒が少しだけチャレンジできるような難易度の課題を用意するようにしていました。
生駒：中1、中2くらいから補習がありましたが、その頃から大学入試問題などチャレンジになるような問題もあったので、高難易度の問題に対して「解けない」と最初から諦めるのではなく何とか対応しようとする力が身についたと思います。
小川：今回、東大の理科三類を受けるに当たって共通テストの成績があまりよくなかったですよね。共通テストの結果を見たときに出願するかどうか迷うだろうと思いました。でも、その日のうちに「受けます」と言ってくれました。
生駒：中5の1学期終わりくらいから東大に行くことを決めていましたし、そのための勉強も積んできました。東大は共通テストよりも二次試験の方が配点は高くて勝負所ということもあるので、もうそこに賭けるしかないかなと思いました。
小川：そこから二次試験までの間、まさに鬼気迫るような勢いで勉強していましたね。1ヶ月ほどの間、若干声をかけづらい雰囲気がありました。
生駒：この6年間をちゃんと自分で納得して終えられるように、自分の力を出し切れるようにギアを上げていきました。
小川：中6で勉強が忙しい中でしたけど11月の近畿大会までは野球応援に来ていましたよね。
生駒：中6は行ってはいけないのではとも思っていましたが。僕自身、智辯の野球は小学生の頃から好きだったので中6まで応援に参加することができてよかったです。
小川：低学年の頃から勉強をしっかりやってきつつも遊ぶときは遊ぶというか、勉強と行事ごととのメリハリをすごくつけられていたというのが印象的でした。
生駒：もちろん、ずっと勉強をやっているわけではありません。それだと身体がもたないので。でも、ずっと遊んでばかりだと何のために智辯に来たんだろうって思いますし。友達との時間もすごく楽しいですがメリハリをつけるのはずっと意識していました。
小川：特別活動で言うと、僕の心残りとしては、コロナの影響で中止となった中5の数学甲子園ですね。各分野のスペシャリストがきちんと揃っている数学研究会のメンバーで出場を予定していました。実は中1のときからずっと計画していたんです。「中5で全国大会に出るぞ！」って。そういう意味では、生駒君自身の能力の高さもあるけど、周りからの刺激も大きかったのでは？
生駒：それはあります。小川先生と出会ったのもそうですし、友達や先輩にもすごい人がたくさんいたので。
小川：自分と同じくらいか、それ以上にできる分野を持っている人が周りにたくさんいるという環境が大きな刺激になったのでしょう。
生駒：本当にいい刺激になりました。自分を高めるのに素晴らしい環境だったと思います。
小川：大学では、ますますレベルの高い環境に身を置くことになると思います。その中でも智辯和歌山で友人と共に高め合った経験を糧にして成長していってもらいたいです。
生駒：智辯和歌山で学ぶことができたのは自分にとって幸福でした。母校への誇りを胸に次のステップに進んできたいと思います。

2023年度 出身地域別生徒数

	和歌山市	海南市・海草郡	紀の川市・岩出市	橋本市・伊都郡	有田市・有田郡	御坊市・日高郡	田辺市・西牟婁郡	新宮市・東牟婁郡	大阪府	その他	合 計
中学１年	88	17	29	4	9	15	6	—	39	—	207
中学２年	111	16	22	3	4	4	8	—	41	2	211
中学３年	100	14	34	4	15	9	4	—	2	33	215
高校１年	107	19	38	1	12	10	7	1	39	9	243
高校２年	129	21	22	1	19	12	9	1	41	5	260
高校３年	107	27	32	1	16	9	5	—	44	7	248
計	642	114	177	14	75	59	39	2	206	56	1384

学びのPoint 独自の学習スタイルで　個々の成長を促す。

4 質の高い教育をみんなに

Point 01 習熟度別クラス編制

全学年習熟度別クラス編制をとっています。生徒一人ひとりの成長速度に合わせて、それぞれに合った授業内容を提供し、個々の能力の最大開発をめざしています。生徒は自分にあったペースで学習に取り組むことができるので、無理なく授業を受けることができます。中学5年（高校2年）からは文系・理系のコース選択をおこない、それぞれのコース内で習熟度別クラス編制をとっています。クラス内には同じ志を持った生徒がたくさんいるので、互いに切磋琢磨し、高め合っていくことができます。

組	中1	中2	中3	中4（高1）	組	中5（高2）	中6（高3）
A	S選抜クラス合格者	AB組	A組	A組	A	AB組〈理系〉	AB組〈理系〉
B			BC組	BC組	B		
C	総合選抜クラス合格者	CDE組			C	CD組〈理系〉	CD組〈理系〉
D			DE組	DE組	D		
E					E	E組〈文系〉	E組〈文系〉
				編入1クラス	F	F組〈文系〉	F組〈文系〉

※習熟度別のクラス編制のイメージ図　クラスは年度ごとに再編制します。

Point 02 発展的勉強会

放課後には、希望者を対象に「発展的勉強会」がおこなわれています。
中学生は大学入試問題にチャレンジし、高校生は模試の過去問の演習などに取り組んでいます。生徒の学ぶ意欲を高めるために、勉強会で扱う問題選びには様々な工夫が施されています。
また、演習でおこなった模試は全国での偏差値や順位を算出した結果が返されるので、常に全国レベルで自分の実力を把握し、緊張感を持って勉強に励むことができます。

Point 03 基礎学習支援

大学入試レベルの発展・応用内容に取り組むためには、その根幹となる基礎内容の定着が不可欠です。
そのため、特に低学年での基礎学習を疎かにすることはあってはなりません。
日々の授業内での小テストや放課後の補習など、個々の習熟度に合わせた方法で、基礎学習支援を徹底的におこないます。
学習内容に不安のある状態を長引かせないよう、フォローアップの充実を図っています。

Point 04 勉強合宿

基本的な学習習慣や規則的な生活リズムがまだ身についていない生徒数十名を対象に、中学1年生の3月末に高野山、中学2年生の8月末に貝塚でそれぞれ宿泊を伴う勉強合宿を実施しています。
集団生活の中で、まずは個々の生活リズムを確立させながら中学生としての自立を図ります。学校や家庭とは異なる環境に身を置き、普段の生活への有り難さを再認識しながら感謝の気持ちを養います。
学習面では、学業に対する自律を促し、英数国を中心とした教科の基礎的指導をおこなっています。この勉強合宿を通して、自主的に学習する方法を学びとり、意欲的に学習する姿勢を養います。

Point 05 選べる2つの学習環境

一つ目は授業内容の不明点を教員へ気軽に質問できる環境。職員室横に対応スペースを設け、質問に訪れた生徒が内容を深く理解できるまで、教員が何度でも教授します。
二つ目は生徒が個人で学習に没頭できる環境。図書館には個別ブースを備えた机を完備し、静粛に保たれた室内で授業の予習・復習や自習課題に取り組むことができます。
高校3年生には専用座席を設けており、自主学習に取り組む上で最良の環境を整えています。

Point 06 1人一台のタブレット

生徒全員が1台のタブレット(中学生は貸与、高校生は購入)を所持し、日々の学習に活用しています。
探究活動をおこないプレゼンソフトで発表をおこなう、教員が生徒から意見を即時に収集・共有し、さらに考えを深めるなど、一人ひとりの能力を最大限に伸ばすためにICTの有効的な活用をめざしています。
家庭学習においても生徒と教員がオンラインで双方向のやり取りが可能で、家庭学習の記録をもとに担任から学習のアドバイスを受けることもあります。

在校生 Voice

中学3年生　玄素 沙永子

智辯和歌山では、高い目標を持ち、それに向かって毎日一生懸命努力を続ける良き仲間達と勉学に励むことができます。また、部活動においては勉強との両立をしなければならないので大変ではありますが仲間とともに頑張ることで前向きな気持ちで取り組むことができます。そして、それを支えてくださっている先生方の指導はとても丁寧でわかりやすいです。このような素晴らしい仲間や先生方と過ごす学校生活はとても充実し、将来役立つものであると思います。

中学6年生　豊田 一颯

学園生活で最も居心地が良く感じていたのは教室です。同じ志を持つ友が作る独特な空気感は固い克己心のもと向上心を鼓舞してくれます。授業中の勉強に対する姿勢はもちろんのこと、休憩時間も惰性に過ごすのではなく、友人と勉強を教え合うなどしています。勉強をするためのものが智辯には全て備わっています。受験生になった今、智辯で過ごした有意義な時間の価値に気づかされました。自分の可能性を広げたい人は、ぜひ本校に身を投じる勇気を持ってほしいと思います。

中学5年生　編入コース出身　土谷 悠真

編入コースは毎日7限というハードなうえ、進度がとても速いため、授業についていけるか不安でしたが、先生方が一つ一つ丁寧に理解するまで教えてくださりました。また、放課後に生徒同士での授業を開き、わからないところを気軽に聞いて学ぶことができました。こうして、クラスメイトと切磋琢磨しあって、より絆が深まっていくのが編入の良いところだと思います。一人ひとりの志が高いので、それに負けじと頑張ることができました。決して楽な一年ではありませんでしたが、自身の成長を感じることができています。

智辯学園和歌山 SDGs宣言

SDGs

SDGsへのアプローチ

総合学習やホームルームの時間にて、SDGsのテーマでもある、社会問題や経済問題、ジェンダー等をテーマにした調べ学習や議論を行う時間を設け、将来的に社会のリーダーとなるために必要となる本質を見抜く力や洞察力、豊かな人間性を育てています。

本学園のSDGsへの取り組み

感謝の心

感謝の心（四恩）を基盤に「誠実明朗で知性あふれ、将来各分野で活躍するリーダーの養成」を目指します。

堅い絆

三位一体（児童生徒・保護者・教職員）で共に成長し、互いに敬い、助け合える環境づくりを目指します。

未来へ

地域社会に貢献し、未来にむけて地域と共に成長する地域に愛される学園を目指します。

SDGsにもつながる、智辯　学園和歌山の心の教育

01 原爆被害についての調査

3 すべての人に健康と福祉を　10 人や国の不平等をなくそう　16 平和と公正をすべての人に

「被害者にとって戦争はまだ終わっていない。」原爆によって日本が実際にどのような被害を受けたか。どれだけの人が犠牲になったか。被爆者がどのように苦しんでいるのか。どのような障害や差別を背負わされたか。

02 ウクライナ侵攻にともなう難民問題を考える

1 貧困をなくそう　16 平和と公正をすべての人に

ウクライナ侵攻にともなう難民問題をグループで調べ、様々なケースを踏まえながら、対策方法などについて主体的に考え、発表する機会を設けた。

03 視覚障がいについて考える

3 すべての人に健康と福祉を　10 人や国の不平等をなくそう

アイマスク着用での歩行や階段の上り下りを体験し、日常生活における様々な場面での自然な声かけなど考え、他者の気持ちを想像する大切さを学びました。また球技「ゴールボール」を実際に行い、音だけを頼りに体を動かす怖さ、難しさも体験し感じることができました。

04 地域清掃ボランティア

11 住み続けられるまちづくりを　14 海の豊かさを守ろう　15 陸の豊かさも守ろう

和歌山城・世界遺産熊野古道・美浜町煙樹ヶ浜・海南市露の浜、藤白鈴木屋敷など地域の清掃ボランティアや自然災害による漂着物の撤去作業などを実施。

PICK UP ▸▸ 独自の取組

このように智辯学園和歌山では勉強だけでなく、豊かな人間性を育てる心の教育にも力を入れています。こうした教育方針の下、生徒たち自身で、SDGsにつながる様々な取組をを行っています。ここで一つ智辯和歌山伝統の取組を紹介させてください。

生徒会副会長　井上 和星さん

4 質の高い教育をみんなに　10 人や国の不平等をなくそう

虹色の鉛筆募金活動

虹色の鉛筆募金活動では、募金で集まった支援金をあしなが育英会に寄付しております。教育に不平等があってはいけないという生徒たちの想いから2008年に活動を開始し、現在も生徒たち自身で引き継がれている活動です。智辯学園和歌山の教育理念である“豊かな人間性を育む教育”が生み出した、私たちが誇る伝統的活動の一つです。全校生徒や先生方に支えられて今年で15年目を迎える事が出来ました。

出来ることからまず始めてみる！

School Life

学校生活 & 施設紹介

快適な環境のもとで育まれる豊かな情操

●図書ゾーン

●創立10周年記念建学記念講堂　昭和63年10月竣工

●文化ゾーン

●マルチビジョンルーム

●コンピュータ自学自習教室

●茶華道室

●体育館

その他の施設

- ●多目的ホール
- ●自習スペース
- ●野球専用グラウンド

など

Uniform

制服紹介

a school day 生徒の一日

~8:30

登 校

7:15から図書館を利用でき、朝早くから登校して自習に励む生徒もいます。

8:30~

読書時間

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身に付けます。

読 経

始業前、御真言御宝号をお唱えし、心を静め、決意を新たに1日のスタートをきります。

8:40~

午前授業

日々の授業こそ学校生活の基本です。真剣勝負の時間が流れます。

12:00~

昼休み

愛情たっぷりのお弁当を友達と楽しくいただきます。

12 つくる責任 つかう責任

12:35~

午後授業

タブレットを活用して探究活 動にも取り組んでいます。

~18:00

放課後

クラブ活動や補習授業の時間です。図書館の自習スペースで、受験勉強や予復習に取り組む生徒もいます。

校時表［60分授業］

読書	8:30～ 8:40
1限目	8:40～ 9:40
2限目	9:50～10:50
3限目	11:00～12:00
昼食	12:00～12:35
4限目	12:35～13:35
5限目	13:45～14:45
6限目	14:55～15:55

※クラスにより7限目(16:05～17:05)や補習授業がおこなわれます。

Event Calendar

年間行事

思い出の数々が未来の自分への力となる

林間学校

修学旅行(中5)

体育大会

入学式

臨海学校

修学旅行(中3)

音楽鑑賞会

錬成会

4 April

- 入学式、始業式
- 新入生オリエンテーション(新入生)
- 錬成会(高1)
- 身体測定

5 May

- 母校訪問(新入生)
- 内科検診
- 中間考査
- 育友会総会
- 球技大会

6 June

- 学園創立記念日
- 歯科検診
- 音楽鑑賞会
- 入試説明会

7 July

- 学期末考査
- 林間、臨海学校(中学)
- 三者面談
- 留学生来校(アメリカ)
- 高校野球応援
- 韓国研修プログラム
- 入試説明会

8 August

- 留学生来校(韓国)
- 終業式
- 東大見学(中3)
- 貝塚合宿(中2)
- エンパワーメントプログラム

9 September

- 始業式
- 地区懇談会
- 留学生来校(オーストラリア)
- 実力テスト

10 October

- 中間考査
- 文化祭
- 教育講演会
- 進学指導会
- 体育大会
- 修学旅行(中5)
- 修学旅行(中3)

11 November

- 実力テスト
- 卒業記念陶板作成
- 修学旅行(S2)

12 December

- 学期末考査
- 三者面談
- 終業式

1 January

- 始業式
- 入学試験(中学)
- 大学入学共通テスト
- 実力テスト
- 卒業式(高校)

2 February

- 入学試験(高校)
- 私立大学入試
- 国公立大学個別試験

3 March

- アメリカ短期留学(高1)
- オーストラリア短期留学(高1)
- 学年末考査
- 三者面談
- 終業式
- 高野山合宿(中1)
- 修学旅行(陸上競技部)
- 卒業式(中学)

オーストラリア短期留学

卒業式

文化祭

球技大会

留学生来校(オーストラリア)

東大見学

EMPOWERMENT PROGRAM®

エンパワーメントプログラム

17 パートナーシップで目標を達成しよう

英語でリーダシップが取れる人材に

日々グローバル化が発展するに伴い、単なる英語力の向上だけでなく、グローバル社会において英語でリーダーシップを取り、異国の人々と協同していく能力が日本の学生に求められています。本校では、英語による発信力を強化するため、5日間英語漬けの日々を送るエンパワーメントプログラムを実施しています。日本人生徒6～7名のグループごとに、日本の大学・大学院で学ぶ留学生が1名つき、グループディスカッションやプレゼンテーションをすべて英語でおこないます。外国人講師1名がファシリテーターとしてクラス全体をサポートし、参加者全員が一体となってプログラムに取り組んでいきます。

Student Voice

"I am going to talk about what I learned by joining "Empowerment Program". There are two things. First of all, it is important to have confidence. I was reluctant to speak in public before joining this project. However, after talking with the group leader and teammates for five days, I've become more and more confident than before. Second, I can broaden my horizon, because I heard a lot about the dreams of group leaders and why they study. These experiences will be of great help to my life in the future. I'll recommend you to join us."

Club Activities

クラブ活動

仲間と切磋琢磨し　積み上げる輝かしい日々

野球部

春・夏の甲子園で優勝4回、準優勝4回！

春・夏の甲子園大会出場、優勝をめざし、日々練習に取り組んでいます。学園の模範となる生徒として学園生活にも力を注ぎ、将来のリーダーとしての資質を磨いています。卒業後は、大学野球や、社会人野球・プロ野球で活躍する者もおり、多数のOBが様々なステージで活躍しています。

活動歴

選抜高校野球大会甲子園
〈15回出場〉
- 優　勝 1回
- 準優勝 3回

全国高校野球選手権大会甲子園
〈26回出場〉
- 優　勝 3回
- 準優勝 1回

国民体育大会高等学校硬式野球出場
〈9回出場〉
- 優　勝 1回

Pick up CL UB!!

科学部

科学部は2012年創部で現在高校生60名、中学生50名の本校でも大所帯の部活です(2023.3.24時点)。普段、部員達は化学教室に集まって、仲間と話しながら何かしら工作をのんびり行っていることが多いです。ただ、和歌山大会(きのくに科学オリンピック)や全国大会(科学の甲子園全国大会)の前になると、教室内は緊張感が高まってきます。この時には毎日放課後に課題の工作や実験に必死で取り組みます。
ここ数年のことですが、科学的な研究発表に取り組む部員達も増えています。それぞれの部員が好きな分野について深く掘り下げて研究を行い、和歌山県総合文化祭や様々な研究機関で、PowerPointを用いたプレゼンテーションを行っています。

活動・入賞歴

- 科学の甲子園 第12回大会まで出場9回
  (最新第12回科学の甲子園にて工作全国7位
  総合成績全国15位)
  (第7回科学の甲子園にて筆記全国2位
  総合成績全国5位)
- 科学の甲子園ジュニア 第10回大会まで出場4回
  (令和2年度大会にて化学全国1位
  総合成績全国13位)
- 第45回全国高総文祭 自然科学部門 生物部門
  奨励賞(全国4位)
- 第41回～46回全国高総文祭自然科学部門
  連続出場

陸上競技部

男女が県大会優勝！
「全国高等学校駅伝競走大会」に揃って出場！

全国大会出場をめざす陸上競技部。2022年12月開催の「男子第73回、女子第34回全国高等学校駅伝競走大会」に出場し京都の都大路を駆け抜けました。国公立大学へ進学する者、箱根駅伝をめざして関東の駅伝強豪校へ進学する者も在籍しており、今後も全国高等学校駅伝競走大会での活躍、また卒業生の活躍に期待が寄せられます。

活動・入賞歴

- 男子　第70・71・73回 全国高等学校駅伝競走大会 出場
- 女子　第32・33・34回 全国高等学校駅伝競走大会 出場

体育部　サッカー／バレーボール／陸上競技／卓球／バスケットボール／テニス／剣道／少林寺拳法

文化部　新聞／ブラスバンド／美術／演劇／天文／放送／茶華道／写真／ESS／生物／書道／コンピュータ／箏曲／囲碁将棋／歴史／合唱／科学／競技かるた／文芸／クイズ研究会／数学研究会